

平成 29 年度 九州大会の報告

2017 年 6 月 23 日

福高ヨット部 監督 豊原政則

福高ヨット部 OB・OG 会の皆様、日頃より様々なご支援ご協力誠にありがとうございます。先日 6 月 15 日～18 日にかけて沖縄の与那原マリーナ沖で開催された、第 45 回全九州高等学校ヨット競技大会の報告をいたします。

初めて艇を海上輸送し、快晴の福岡から全国大会を目指して乗り込んだ沖縄は、あいにく梅雨前線の真下という状況で、期間中はずっと雨で荒れる予報でした。

出場は男子 420 級 1 艇 (3 年志呂威・松嶋)、男子シングルハンダー級 1 艇 (2 年吉木)、女子シングルハンダー級 1 艇 (2 年赤星) で、県大会ではそれぞれまとまった走りをしていたので、ある程度の期待と自信をもって臨んだ大会でした。

15 日の練習レースでは 420 は 3 位となり、順調かと思っていましたが、大会初日は強風の中 1 レースしか実施できず、3 艇とも全く納得いかない順位でした。福岡ではあまりないうねりや波に戸惑っていたようです。

2 日目は最大 4 レースの予定となり、台風並みの暴風雨の寒さに震えながら待機しましたが、結局ノーレースとなり空しく宿舎にもどるしかありませんでした。

最終日は、帆走指示書の変更で 3 レース行うことになり、十分逆転できると思いきり送り出しましたが、軽量の彼らには強風はきつく、最終的に 420 は 9 位/21 艇、男子シングルは 17 位/18 艇、女子シングルは 7 位/14 艇という結果に終わりました。420 は 8 位になれば全国の切符を手に入れることができたのですが、2 点及ばず非常に悔しく無念の思いでいっぱいです。

ただ、女子は最終レースでトップとなり来年に繋がる走りを見せてくれたと思います。

なぜ、結果が出せなかったのかは今後検証していきますが、420 の 3 年は非常に研究熱心であり、正面からヨットに向き合う姿は素晴らしいものがありました。軽量のため強風では苦戦しましたが、順風以下のクローズのボートスピードはトップクラスであったため、尚更全国大会で走らせたかった思いが募りません。

今回はこのように残念な結果となりましたが、来年からはインターハイの種目が 420 とレーザーラジアルとなり、九州大会・全国大会もこのクラスで行われます。来年以降部員が増えれば、艇・セール購入も必要となりますが、その際には皆様のお力添えをよろしく願いいたします。